

情報リテラシー教育におけるeラーニング (単位数: 2)

担当教員:		喜多敏博	
必修/選択		選択	自分の大学、会社での事情に即した情報リテラシー科目・研修・eラーニングの設計ができるようになることをめざす科目。
開講 年次	1前	◎	情報リテラシー教育においてeラーニングを導入する際の利点・問題点・注意点、教えるべき具体的項目などについて実例を交え、大学や企業における情報リテラシー教育でのeラーニングの利活用について学ぶ。
	1後		
	2前	○	
	2後		
前提科目		基盤的情報処理論	
評価の方法		提出されたレポートでの評価	
		[課題1]典型的な1年間30回分の情報リテラシーの授業における学習項目名を列挙せよ。(10点)	
		[課題2]eラーニングで情報リテラシー教育を行う上での問題点、利点を3つずつ列挙せよ。(10点)	
		[課題3]情報リテラシー教育の実践例を1つ以上調査し、その概要と特徴を説明するプレゼンテーション資料(10スライド以内)を作成せよ。他の人が紹介した事例について、参考になった点を2つ以上列挙し、自分が所属する組織での情報リテラシー教育に当てはめて議論せよ。(20点)	
		[課題4]自分が所属する組織(大学、会社)での事情に即した情報リテラシー科目のシラバスを作成せよ。工夫した点を説明する資料を添付すること。(教員による評価:20点, 受講生同士の相互評価:10点)	
内容		[課題5]作成したシラバス内の項目の内、特にeラーニングコンテンツによる実施が効果的だと判断した項目について、30分程度の分量のコンテンツを作成せよ。少なくとも一部は、JavaScriptでのAPI記述によりSCORM対応とすること。(教員による評価:20点, 受講生同士の相互評価:10点)	
		第1回 ガイダンス(概要と基礎知識確認)	
		第2回 情報リテラシーとは, eラーニングとは	
		第3回 高校での情報リテラシー教育	
		第4回 大学での情報リテラシー教育	
		第5回 社会的要請としての情報リテラシー	
		第6回 eラーニングで行う利点と欠点	
		第7回 事例紹介と議論1	
		第8回 事例紹介と議論2	
		第9回 事例紹介と議論3	
		第10回 JavaScriptの概要と実例	
		第11回 SCORM APIとJavaScript1	
		第12回 SCORM APIとJavaScript2	
		第13回 情報リテラシー教育用コンテンツ開発1	
		第14回 情報リテラシー教育用コンテンツ開発2	
第15回 情報リテラシー教育用コンテンツ開発3			